2026年12月期　第３四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2026年11月９日

上場会社名　　東洋炭素株式会社　　上場取引所　東
コード番号　　5310　　ＵＲＬ　https://www.toyotanso.co.jp
代表者　　（役職名）代表取締役会長兼社長兼CEO　（氏名）近藤　尚孝
問合せ先責任者　（役職名）管理本部財務経理部長　（氏名）久野　正樹　　ＴＥＬ　050-3097-4950

配当支払開始予定日　　ー
決算補足説明資料作成の有無：有
決算説明会開催の有無　　：無

（百万円未満切捨て）

１．2026年12月期第３四半期の連結業績（2026年１月１日～2026年９月30日）

（１）連結経営成績（累計）　　（%表示は、対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年12月期第３四半期	35,133	3.0	3,932	△27.5	4,290	△28.7	3,181	△29.8
2025年12月期第３四半期	34,095	△12.7	5,420	△41.5	6,014	△38.2	4,531	△37.0

（注）包括利益 2026年12月期第３四半期 4,271百万円 （9.8%）　2025年12月期第３四半期 3,890百万円 （△49.0%）

	１株当たり四半期純利益	潜在株式調整後１株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2026年12月期第３四半期	151.69	ー
2025年12月期第３四半期	216.06	ー

（２）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2026年12月期第３四半期	118,913	98,778	83.0
2025年12月期	117,916	97,551	82.7

（参考）自己資本　2026年12月期第３四半期　98,719百万円　2025年12月期　97,491百万円

２．配当の状況

	年間配当金				
	第１四半期末	第２四半期末	第３四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年12月期	ー	0.00	ー	145.00	145.00
2026年12月期	ー	0.00	ー		
2026年12月期（予想）				145.00	145.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

３．2026年12月期の連結業績予想（2026年１月１日～2026年12月31日）

（%表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		１株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	49,000	6.1	6,200	△8.3	6,000	△25.8	5,000	△8.5	238.41

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※　注記事項

（１）当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更：無

新規　－社　（社名）－　、　除外　－社　（社名）－

（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有

（注）詳細は【添付資料】７ページ「四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理に関する注記」をご覧ください。

（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

①　会計基準等の改正に伴う会計方針の変更	：無
②　①以外の会計方針の変更	：無
③　会計上の見積りの変更	：無
④　修正再表示	：無

（４）発行済株式数（普通株式）

①　期末発行済株式数（自己株式を含む）	2026年12月期３Ｑ	20,992,588株	2025年12月期	20,992,588株
②　期末自己株式数	2026年12月期３Ｑ	20,464株	2025年12月期	20,372株
③　期中平均株式数（四半期累計）	2026年12月期３Ｑ	20,972,175株	2025年12月期３Ｑ	20,972,269株

※　添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー：無

※　業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件および業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、【添付資料】２ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

１．経営成績等の概況 …… 2
（１）当四半期の経営成績の概況 …… 2
（２）当四半期の財政状態の概況 …… 2
（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 …… 2
２．四半期連結財務諸表及び主な注記 …… 3
（１）四半期連結貸借対照表 …… 3
（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 …… 5
四半期連結損益計算書 …… 5
四半期連結包括利益計算書 …… 6
（３）四半期連結財務諸表に関する注記事項 …… 7
（四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理に関する注記） …… 7
（セグメント情報等の注記） …… 7
（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記） …… 9
（継続企業の前提に関する注記） …… 9
（四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記） …… 9
３．補足情報 …… 10
（１）品目別の受注及び販売状況 …… 10
（２）概況 …… 11

１．経営成績等の概況

（１）当四半期の経営成績の概況

当第３四半期連結累計期間においては、世界景気は底堅さが見られたものの、中東情勢の影響による原油価格高騰や米国の政策動向、中国における景気停滞等の懸念により、先行き不透明な状況が継続しました。

当企業グループを取り巻く事業環境は、エレクトロニクス分野のシリコン半導体用途は、在庫調整が一巡したことにより、第３四半期に入り需要に力強さが見られました。SiC半導体用途は、原油価格高騰によるEV需要の回復やAI関連の需要に支えられ、需要は依然低水準ながらも緩やかな回復基調となりました。また、企業の設備投資や自動車産業の稼働の底堅さを背景に、一般産業分野やモビリティ分野も堅調に推移しました。

このような状況の中、当企業グループは、付加価値の創造を通じた中長期的な事業成長ならびに企業価値向上を図るべく、新規用途の開拓や既存用途の深掘りを通じて製品・用途構成のバランスをコントロールしながら外部環境の変化に対応するとともに、顧客ニーズに真摯に向き合い、先を見据えた製品・技術開発を通じて付加価値の高い革新的なソリューションを提供してまいりました。

この結果、当第３四半期連結累計期間の経営成績は、売上高35,133百万円（前年同期比3.0％増）と概ね計画どおりの進捗となりました。また、利益については営業利益3,932百万円（同27.5％減）、経常利益4,290百万円（同28.7％減）、親会社株主に帰属する四半期純利益3,181百万円（同29.8％減）となりました。

セグメントごとの経営成績は以下のとおりであります。（品目別の概況は「３．補足情報」をご参照ください。）

日本

半導体用は、段階的に需要が増加しているものの、期初における市場調整の影響により低調な動きとなりました。一方、連続鋳造用や工業炉等の冶金用や軸受、シールリング等の機械用が底堅く推移したこと等により、売上高18,038百万円（前年同期比1.6％増）、営業利益3,581百万円（同0.4％増）となりました。

米国

工業炉用や連続鋳造用等の冶金用が減少したものの、半導体用が堅調に推移したこと等により、売上高3,252百万円（同2.1％増）、営業利益168百万円（同142.6％増）となりました。

欧州

工業炉用等の冶金用や小型カーボンブラシは低調に推移したものの、半導体用が好調に推移したこと等により、売上高3,840百万円（同3.0％増）、営業利益98百万円（同31.1％増）となりました。

アジア

半導体用は第３四半期に入り需要が増加しているものの、上期の需要が低水準だったことにより減少しました。一方、工業炉等の冶金用が増加し、小型カーボンブラシは堅調だったこと等により、売上高10,002百万円（同6.1％増）、営業利益509百万円（同33.4％増）となりました。

（２）当四半期の財政状態の概況

当第３四半期連結会計期間末の資産合計は、前連結会計年度末に比べ996百万円増加いたしました。これは主に未収消費税等の減少等により流動資産のその他が826百万円減少したものの、受取手形及び売掛金が253百万円増加、棚卸資産が948百万円増加および建設仮勘定の増加等により有形固定資産が550百万円増加したこと等によるものであります。

負債合計は、前連結会計年度末に比べ230百万円減少いたしました。これは主に前受金が3,030百万円増加したものの、未払金が1,857百万円減少および営業外電子記録債務の減少等により流動負債のその他が1,585百万円減少したこと等によるものであります。

純資産合計は、前連結会計年度末に比べ1,227百万円増加いたしました。これは主に利益剰余金が140百万円増加、その他有価証券評価差額金が155百万円増加および為替換算調整勘定が930百万円増加したこと等によるものであります。

（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2026年12月期の連結業績予想につきましては、2026年２月16日発表の予想数値から変更はありません。

なお、中東情勢の影響を受けた原油価格高騰の影響により、製造コストが上昇基調にあることから、当企業グループでは2026年10月受注分より価格改定を実施しております。ただし、現時点においては不確定要素が多いこと等から、これらの影響は本業績予想には織り込んでおりません。今後開示すべき重大な影響が見込まれる場合には、速やかに公表します。

２．四半期連結財務諸表及び主な注記

（１）四半期連結貸借対照表

（単位：百万円）

	前連結会計年度 (2025年12月31日)	当第３四半期連結会計期間 (2026年９月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	15,263	14,944
受取手形及び売掛金	15,945	16,198
商品及び製品	15,682	15,063
仕掛品	10,346	11,571
原材料及び貯蔵品	4,165	4,509
その他	1,675	848
貸倒引当金	△33	△34
流動資産合計	63,045	63,101
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	12,336	11,922
機械装置及び運搬具（純額）	19,116	18,350
土地	7,247	7,234
リース資産（純額）	1,628	1,508
建設仮勘定	6,435	8,184
その他（純額）	1,336	1,450
有形固定資産合計	48,101	48,651
無形固定資産	1,095	1,195
投資その他の資産	5,674	5,964
固定資産合計	54,871	55,811
資産合計	117,916	118,913

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2025年12月31日)	当第３四半期連結会計期間 (2026年９月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,573	1,736
電子記録債務	814	995
短期借入金	831	971
１年内返済予定の長期借入金	1,080	1,080
未払金	4,223	2,365
未払法人税等	34	550
前受金	2,150	5,180
賞与引当金	764	898
役員賞与引当金	25	－
その他	3,145	1,559
流動負債合計	14,642	15,339
固定負債		
長期借入金	3,764	2,954
退職給付に係る負債	217	232
資産除去債務	598	601
その他	1,142	1,006
固定負債合計	5,723	4,794
負債合計	20,365	20,134
純資産の部		
株主資本		
資本金	7,947	7,947
資本剰余金	9,609	9,609
利益剰余金	71,787	71,928
自己株式	△62	△62
株主資本合計	89,282	89,422
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	417	573
為替換算調整勘定	7,793	8,724
退職給付に係る調整累計額	△3	△0
その他の包括利益累計額合計	8,208	9,297
非支配株主持分	60	58
純資産合計	97,551	98,778
負債純資産合計	117,916	118,913

（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

（四半期連結損益計算書）

（単位：百万円）

	前第３四半期連結累計期間 （自　2025年１月１日 至　2025年９月30日）	当第３四半期連結累計期間 （自　2026年１月１日 至　2026年９月30日）
売上高	34,095	35,133
売上原価	21,998	24,641
売上総利益	12,096	10,492
販売費及び一般管理費	6,675	6,559
営業利益	5,420	3,932
営業外収益		
受取利息	45	43
受取配当金	339	52
持分法による投資利益	277	344
その他	117	140
営業外収益合計	779	581
営業外費用		
支払利息	37	70
為替差損	108	136
減価償却費	11	11
その他	28	4
営業外費用合計	185	222
経常利益	6,014	4,290
特別利益		
固定資産売却益	176	44
補助金収入	30	22
特別利益合計	206	67
特別損失		
固定資産売却損	0	－
固定資産除却損	61	61
特別損失合計	62	61
税金等調整前四半期純利益	6,159	4,296
法人税等	1,627	1,113
四半期純利益	4,532	3,183
非支配株主に帰属する四半期純利益	0	1
親会社株主に帰属する四半期純利益	4,531	3,181

（四半期連結包括利益計算書）

（単位：百万円）

	前第３四半期連結累計期間 （自　2025年１月１日 至　2025年９月30日）	当第３四半期連結累計期間 （自　2026年１月１日 至　2026年９月30日）
四半期純利益	4,532	3,183
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	124	155
為替換算調整勘定	△673	824
退職給付に係る調整額	△24	2
持分法適用会社に対する持分相当額	△68	106
その他の包括利益合計	△641	1,088
四半期包括利益	3,890	4,271
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	3,888	4,270
非支配株主に係る四半期包括利益	1	1

（３）四半期連結財務諸表に関する注記事項

（四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理に関する注記）

（税金費用の計算）

税金費用については、当第３四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法によっております。

（セグメント情報等の注記）

Ⅰ　前第３四半期連結累計期間（自　2025年１月１日　至　2025年９月30日）

１．報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

（単位：百万円）

	報告セグメント					調整額（注）１	四半期連結損益計算書計上額（注）２
	日本	米国	欧州	アジア	計		
売上高							
一時点で移転される財	17,756	3,184	3,730	9,423	34,095	－	34,095
一定の期間にわたり移転される財	－	－	－	－	－	－	－
顧客との契約から生じる収益	17,756	3,184	3,730	9,423	34,095	－	34,095
外部顧客への売上高	17,756	3,184	3,730	9,423	34,095	－	34,095
セグメント間の内部売上高又は振替高	5,404	90	52	248	5,795	△5,795	－
計	23,161	3,275	3,782	9,671	39,890	△5,795	34,095
セグメント利益	3,566	69	75	381	4,092	1,328	5,420

（注）１．セグメント利益の調整額は、主にセグメント間取引消去およびセグメント間未実現利益消去によるものです。

２．セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

２．地域に関する情報

（単位：百万円）

	日本	北米	欧州	アジア		その他	計
					うち中国		
売上高	14,598	3,293	3,845	12,180	8,432	177	34,095
割合（%）	42.8	9.7	11.3	35.7	24.7	0.5	100.0

（注）１．売上高は顧客の所在地を基礎とし、地理的近接度により国または地域に分類しております。

２．各区分に属する主な国または地域

（１）北米……米国

（２）欧州……フランス、ドイツ、イタリア

（３）アジア……中国、台湾、韓国

Ⅱ　当第３四半期連結累計期間（自　2026年１月１日　至　2026年９月30日）

１．報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

（単位：百万円）

	報告セグメント					調整額（注）１	四半期連結損益計算書計上額（注）２
	日本	米国	欧州	アジア	計		
売上高							
一時点で移転される財	18,038	3,252	3,840	10,002	35,133	－	35,133
一定の期間にわたり移転される財	－	－	－	－	－	－	－
顧客との契約から生じる収益	18,038	3,252	3,840	10,002	35,133	－	35,133
外部顧客への売上高	18,038	3,252	3,840	10,002	35,133	－	35,133
セグメント間の内部売上高又は振替高	5,594	4	19	84	5,702	△5,702	－
計	23,632	3,256	3,859	10,087	40,836	△5,702	35,133
セグメント利益	3,581	168	98	509	4,359	△426	3,932

（注）１．セグメント利益の調整額は、主にセグメント間取引消去およびセグメント間未実現利益消去によるものです。

２．セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

２．地域に関する情報

（単位：百万円）

	日本	北米	欧州	アジア		その他	計
					うち中国		
売上高	14,556	3,315	4,035	13,093	9,156	131	35,133
割合（%）	41.4	9.4	11.5	37.3	26.1	0.4	100.0

（注）１．売上高は顧客の所在地を基礎とし、地理的近接度により国または地域に分類しております。

２．各区分に属する主な国または地域

（１）北米……米国

（２）欧州……フランス、ドイツ、イタリア

（３）アジア……中国、台湾、韓国

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)
該当事項はありません。

(継続企業の前提に関する注記)
該当事項はありません。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)
当第３四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第３四半期連結累計期間に係る減価償却費（無形固定資産に係る償却費を含む。）は、次のとおりであります。

	前第３四半期連結累計期間 （自　2025年１月１日 至　2025年９月30日）	当第３四半期連結累計期間 （自　2026年１月１日 至　2026年９月30日）
減価償却費	3,178百万円	3,628百万円

３．補足情報

（１）品目別の受注及び販売状況

①受注金額

（単位：百万円）

	2025年12月期						2026年12月期			
品　目	１Ｑ	２Ｑ	３Ｑ	３Ｑ累計	４Ｑ	年度合計	１Ｑ	２Ｑ	３Ｑ	３Ｑ累計
特殊黒鉛製品	4,774	4,033	4,546	13,354	6,621 ※２	19,975	5,560	6,696	7,365	19,622
一般カーボン製品 （機械用カーボン分野）	978	865	1,011	2,855	1,239	4,095	1,057	1,227	1,034	3,319
一般カーボン製品 （電気用カーボン分野）	1,021	1,156	1,154	3,332	964	4,296	1,082	1,273	1,068	3,425
複合材その他製品	4,023	2,958	2,813	9,794	3,116	12,911	3,778	5,436	5,493	14,708
合　計	10,797	9,013	9,525	29,336	11,941	41,278	11,478	14,633	14,963	41,075

（注）１．前四半期以前に外貨建てで受注したもので、当四半期中の為替相場の変動による差異については、当四半期受注金額に含めております。

※２．2025年12月期第４四半期における特殊黒鉛製品の受注金額には、X Energy, LLC向け高温ガス炉用黒鉛製品の一部受注分2,422百万円が含まれております。

②受注残高

（単位：百万円）

	2025年12月期				2026年12月期		
品　目	１Ｑ	２Ｑ	３Ｑ	４Ｑ	１Ｑ	２Ｑ	３Ｑ
特殊黒鉛製品	6,475	5,411	5,080	6,507 ※２	7,138 ※２	8,399 ※２	9,709 ※２
一般カーボン製品 （機械用カーボン分野）	1,066	915	912	930	1,000	1,088	1,047
一般カーボン製品 （電気用カーボン分野）	779	841	762	811	879	985	938
複合材その他製品	6,493	5,375	4,596	3,981	4,757	6,286	7,480
合　計	14,815	12,544	11,352	12,230	13,776	16,760	19,176

（注）１．前四半期以前に外貨建てで受注したもので、当四半期中の為替相場の変動による差異については、当四半期受注残高に含めております。

※２．2025年12月期第４四半期以降における特殊黒鉛製品の受注残高には、X Energy, LLC向け高温ガス炉用黒鉛製品の一部受注分が含まれております。なお、2026年12月期第３四半期における受注残高は、2,375百万円（受注時の為替レートにより換算）です。

③品目別販売実績

(単位：百万円)

	2025年12月期						2026年12月期			
品　目	１Ｑ	２Ｑ	３Ｑ	３Ｑ累計	４Ｑ	年度合計	１Ｑ	２Ｑ	３Ｑ	３Ｑ累計
特殊黒鉛製品	5,215	4,988	4,866	15,070	5,230	20,300	5,183	5,449	6,039	16,672
【エレクトロニクス分野】	2,031	1,876	1,607	5,516	1,948	7,465	1,544	1,742	2,316	5,604
【一般産業分野】	2,592	2,513	2,701	7,807	2,693	10,501	2,689	2,922	2,974	8,586
【その他】	590	597	557	1,745	587	2,333	949	784	747	2,481
一般カーボン製品 (機械用カーボン分野)	973	1,013	1,016	3,003	1,222	4,226	992	1,138	1,074	3,206
一般カーボン製品 (電気用カーボン分野)	1,063	1,015	1,132	3,211	1,145	4,356	1,070	1,178	1,119	3,368
複合材その他製品	3,831	4,078	3,640	11,551	3,771	15,322	3,048	3,781	4,148	10,978
【主要３製品】	3,208	3,387	2,985	9,581	3,120	12,702	2,464	3,227	3,577	9,268
【その他製品】	622	691	655	1,969	650	2,619	584	554	570	1,709
商品	391	409	458	1,259	724	1,983	281	245	380	907
合　計	11,475	11,504	11,114	34,095	12,094	46,189	10,576	11,794	12,762	35,133

(２) 概況

特殊黒鉛製品

エレクトロニクス分野は、半導体デバイス関連製造部材は引き続き低水準だったものの、上期低調だった単結晶シリコン製造用やSiC半導体向けの化合物半導体製造用の需要が第３四半期に入り増加したこと等により、前年同期比1.6%増となりました。

一般産業分野は、工業炉用等の冶金用や放電加工電極が堅調に推移したこと等により、前年同期比10.0%増となりました。

これらの結果、特殊黒鉛製品全体としては、前年同期比10.6%増となりました。

一般カーボン製品

機械用カーボン分野は、軸受やシールリングが堅調に推移した他、パンタグラフ用すり板も底堅く推移したこと等により、前年同期比6.8%増となりました。

電気用カーボン分野は、家電・電動工具向けの小型モーター用等が増加したことや、大型モーター用も堅調に推移したこと等により、前年同期比4.9%増となりました。

これらの結果、一般カーボン製品全体としては、前年同期比5.8%増となりました。

複合材その他製品

SiCコーティング黒鉛製品は、第３四半期に入りシリコン半導体向けが増加した他、SiC半導体向けも緩やかながら需要は上向きつつありますが、上期が低調だった影響により、前年同期を下回りました。C/Cコンポジット製品は、工業炉用や半導体用が堅調に推移したこと等により、前年同期を上回りました。黒鉛シート製品は、冶金用や自動車用が堅調に推移したこと等により、前年同期を上回りました。

これらの結果、主要３製品は前年同期比3.3%減となり、複合材その他製品全体としては、前年同期比5.0%減となりました。